

四国中央市教育委員会会議録

	<p>平成26年四国中央市教育委員会第4回定例会会議録</p>
日時	平成26年4月22日(火) 午前9時30分～
場所	四国中央市本庁5階第1委員会室
委員定数	5名
出席委員	委員長 守谷 一郎、委員 篠原 祥子、委員 近藤 達之介、委員 鈴木 千明、教育長 野村 勝廣
欠席委員	なし
会議に出席した公務員の職氏名	教育部長 片岡 俊助、教育総務課長 真鍋 葵、学校教育課長 原田 尋、学校教育課指導監 石津 善久、生涯学習課長 石川 寿一、文化図書課長 曾我部 和司、国体推進課長 藤田 恭二、教育総務課長補佐 鈴木 一好、少年育成センター所長 石井 和隆、教育総務課副課長 高橋 徹、教育総務課係長 星川 直子、教育総務課 戸田 浩史
傍聴人	1名(報道関係者)
会議の概要	<p>開会</p> <p>午前9時30分 第4回定例会の開会を宣する。報道関係の傍聴者に、写真撮影は最初の5分間のみ許可する旨伝える。</p> <p>委員長挨拶</p> <p>先日の市教職員総会は、ご苦労であった。市教職員総会では、初めて篠原市長が出席され、学校行事の中で防災教育というような話もされた。市教職員総会も終わり、新年度が各学校で本格的に始動したのではないかと思う。この教育委員会定例会も26年度は、ここにいるメンバーでの開催となる。よろしく願いしたい。新しく加わった原田学校教育課長、石川生涯学習課長、石井少年育成センター所長には、新しい感性により、新たな風を吹き込んでいただきたい。</p> <p>ご承知のとおり国においては、教育に関し様々な改革や見直しが行われている。それに伴い、国、県を通じて通達や調査等が数多く来ているのではないかと思う。事務作業も増え大変だが、事務の合理化について考えていただきたい。人事異動もあり新しく担当される方、引き続きの仕事を担当される方もいる。それぞれ、前例を参考にして事務を進めることも多いと思うが、事務の簡素化、それ以外に方法はないのか等を、一人ひとりが見直す良い機会としてもらいたい。県教委、教育事務所、市教委、学校等の教育関係業務は、非常に忙しく大変であり、何とかならないものかと思っている住民の方も少なくないようである。必要なものは取り入れ、必要のないものは廃止するといったスクラップアンドビルドを行い、できるだけスクラップの方を多くしてもらいたい。できるだけ負担が減るように工夫を願う。</p>
委員長	
委員長	

四国中央市教育委員会会議録

委員長	<p>会議録承認 会議録の承認について諮る。平成26年第3回定例会会議録案について、事務局より説明を求める。</p>
高橋副課長(教総)	平成26年第3回定例会会議録案の概要を説明する。
委員長	平成26年第3回定例会会議録案の承認について諮る。
全委員	承認する旨答える。
委員長	承認の旨確認し、平成26年第3回定例会会議録の原案を承認する旨宣す。既に指名の委員には、それぞれ後ほど会議録に署名を願う。
委員長	<p>会議録署名委員の指名 平成26年第4回定例会会議録署名人に、近藤達之介委員、鈴木千明委員を指名する。</p>
委員長	<p>報告事項 諸般の報告を求める。</p>
教育長	<p>教育委員会は3名の異動と大きな異動はなかったが、これまでのことを引き継ぎ新たな改革が力強く推進して行くものと確信している。 教育委員会においては、耐震や公民館建設、学校給食センターの建替え、学校の統廃合等と難題が山積しているが、一丸となりひとつひとつの課題を克服して行きたいと思っている。教育委員各位にもご支援をよろしく願いたい。 その他、各課の諸行事については特別に私から申し上げることはなく、各課から報告の後ご審議いただきたい。</p>
委員長	各課から事務報告を求める。
教育総務課長	<p>教育総務課所管の教育総務・学校管理・学校施設に関し、資料に基づき事務報告する。 4/8 学校施設の耐震化工事にかかる入札参加資格について、審査会が行われた。対象となるのは、南小学校体育館他5校の工事であり、審査いただいている。</p>
鈴木補佐(給食)	<p>学校給食に関し、資料に基づき事務報告する。 4/11 第1回四国中央市学校栄養士会が開催され、今年度の役員等を決定している。 4/21 四国中央市地産地消推進委員会運営委員会が開催された。</p>
学校教育課長	<p>学校教育に関し、資料に基づき事務報告する。 4/4 永年勤続感謝状贈呈式が行われ、19名が表彰された。続いて新規採用・転入教職員受入式が行われ47名の方を四国中央市に迎えた。 4/9 小・中学校入学式が行われた。無事に小学校803名、中学校762名の新入生を迎えることができた。</p>

四国中央市教育委員会会議録

<p>石井所長（少年）</p>	<p>4/10 市立幼稚園入園式が行われ、142名の入園児を迎えている。</p> <p>少年育成センターに関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>4/25 松山市青少年センターにて、県下各市町の青少年補導センター長が一堂に会し、愛媛県少年補導センター連絡協議会定期総会が開催されるため参加予定である。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>生涯学習課所管の社会教育・社会体育・人権教育に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>前回の定例会で教育委員会の機構改革について説明させていただいているとおり、人権啓発業務は、総務部の人権施策課へ移行した。当課に人権教育業務が併合されたため、当課所管事務は社会教育・社会体育・人権教育と新しい体制となっている。</p> <p>4/7 四国中央市公民館連絡協議会総会が市内20館の館長・主事が一堂に会し開催された。会長には上分公民館の高橋館長が就任されている。</p> <p>5/22 第1回四国中央市新規採用・転入教職員等人権・同和教育研修会が行われる予定である。これまで市内4地域で別々に開催していたが、今年より統合し、年3回の開催予定としている。</p> <p>5/25 四国中央市連合婦人会総会の開催予定である。</p> <p>5/29 四国中央市人権教育協議会総会が開催される。例年、方針決定が遅れ、各地区で行われる「ふれあい座談会」が真冬となる場合もある。早期に人権教育協議会の方針を決定し、早めに取り掛かれるような体制に改めたい。</p>
<p>国体推進課長</p>	<p>国体推進課所管事務に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>前回の定例会にて報告させていただいたが、「国体を地域と共に」ということで地域に国体協力を立ち上げるため、この1ヶ月で全公民館を回っている。その後、地域の方々と共に協議し、どのような方法で行えるかについて進めているところである。</p> <p>5/29 えひめ国体四国中央市準備委員会常任委員会、第1回四国中央市市内推進会議が開催される。これにより今年度は、国体に関して大きく動き出すこととなる。</p> <p>今回は、国体協力会に関して総論的な話のため、詳細な部分での質問をいただいた。この後、会の最後に、より具体的などころをご報告させていただく。また、2年前の山口国体における民泊等を含め国体協力会(当市が目指すところとする)に関する記録DVDを視聴いただきたい。</p>
<p>文化図書課長</p>	<p>文化図書課所管の文化振興・図書館に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>4/10～ 第7回書道パフォーマンス甲子園参加受付開始し、5/9まで受け付ける。現在のところ申し込みは、前回優勝校の大分高等学校のみである。</p> <p>続いて図書館関係について資料のとおり報告する。</p> <p>図書館行事については、定例の行事の他、資料記載の行事を開催し図書館の利用促進を図っている。</p> <p>今後も利用者の皆様に楽しんでいただけるようなイベントを多く取り入れたいと考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>只今の教育長及び各担当からの報告について、意見質問等がないか問う。</p>

四国中央市教育委員会会議録

篠原委員	<p>今後、国体協力会に大きく関わると思うが、婦人会について当市全体での状況をお聞かせいただきたい。</p>
生涯学習課長	<p>私が公民館主事だった平成元年当時は、各公民館単位に必ず1団体はあり、新宮は4地域、嶺南には2地域にあった。現在、婦人会活動を行っているのは当市全体で15団体である。その内、市連合会に加盟している団体が、川之江地域が3団体、三島地域はゼロ、土居地域が2団体、新宮地域が2団体となっており、加盟していない婦人会の方が多いのが現状である。</p> <p>共同民泊を行う上で食事等、色々なお世話をする必要が生じる。そのため婦人会の関与は欠かせないと思われる。何れにしても今後、特に地域コミュニティ再生の関係において、公民館を母体とする何らかの形での女性の組織は必要であると考えている。</p>
委員長	<p>他に意見等ないか問う。</p>
近藤委員	<p>土居西幼稚園の入園児が今年は2名であった。現在、5歳児が12名(男児10名、女児2名)、今年、みかん組に入ったのが2名である。今年、3名の応募があったようだが、女児が2学年合わせて2名のみとのことでためらわれたようだ。こうした状況を地元の方も心配されている。運動会やPTA活動を行うにしても大変な状況が考えられ、来年の新入園児についても、この状況の中では期待できないと心配されている。土居東幼稚園については、3歳児からの募集ということもあり、定員が20名のところを38名の希望があったようである。来年度に向け土居西幼稚園への入園希望者を増やす何か良い方策等はないか。</p>
学校教育課長	<p>近藤委員が言われた心配はある。担当者と相談し何らかの対策を立てたい。土居西幼稚園については、アットホームな雰囲気小さな園の良さを生かし運営するというのが園長の方針である。</p>
近藤委員	<p>土居西幼稚園は3歳児の受け入れがないため、土居東幼稚園に流れているのではないか。土居西幼稚園は現在、空き室が2室あり、また、運動場・園舎の広さを含め規模的には土居東幼稚園と同等である。それを活用すべきではないかとの地元の方のご意見も伺っている。</p>
教育総務課長	<p>3歳児保育の需要が多いことは理解しているが、合併時、将来幼児人口や私立幼稚園経営等を総合的に勘案し、現状に至った経緯があることをご理解いただきたい。</p>
近藤委員	<p>入園児2人というのは危機的な状況である。来年度の入園に向け何らかの早急な対応策の必要を感じる。</p>
委員長	<p>土居西幼稚園の保護者、地域の方に現状を説明できるよう改めて検討してもらいたい。</p>
近藤委員	<p>地域の方を含め、現保護者、来年度入園を控えている保護者は不安に思っている。その辺りをできるだけ解消できる施策をお願いしたい。</p>

四国中央市教育委員会会議録

委員長	<p>学校教育課を中心によろしく願います。 他に意見等ないか問う。</p> <p>ふれあい座談会を今年度、早くから始めたいというのは非常に良いことである。先ほど婦人会の話も出たが、社会体育、社会教育を含めこれまでの団体が時代の変化と共に衰退したり、運営が難しくなったりしている。多くの団体を抱えていると思うが、それらを活性化するよう新しい視点で見直して、良い方向に向かうようフットワーク良く進めていただきたい。</p>
鈴木委員	<p>本日は、全国学力・学習状況調査が行われているが、市独自の学力テストはいつ行われるのか。</p>
石津指導監	<p>12月に行うこととしている。</p>
委員長	<p>他に意見等ないか問い、議事に移る。</p>
委員長	<p>議事 本日の議案4件は、全て人事案件であるため、議事を非公開とする旨発議する。異議ないか問う。</p>
全委員	<p>異議ない旨伝える。</p>
委員長	<p>異議なしと認め、本日の議事を非公開で審議することを宣する。非公開審議により傍聴人に一時退出を求める。</p> <p style="text-align: center;">～ 傍聴人は一時退出 ～</p>
委員長	<p>議案第17号「スポーツ推進委員の委嘱について」を上程し事務局の説明を求める。</p>
生涯学習課長	<p>議案第17号について、資料に基づき議案内容を説明する。 スポーツ基本法第32条第1項及び四国中央市スポーツ推進委員規則第2条第1項の規定に基づき、資料記載の者(52名)をスポーツ推進委員に委嘱されたい。これは、スポーツ推進委員の任期満了に伴い、委員の委嘱を求めるものである。 委嘱の52名の方はほとんどが再任であり、新任の方は12名である。何れの方もスポーツ振興には深い見識を有しており、社会的信望も厚く、スポーツ推進に熱意を持たれている。</p>
委員長	<p>只今の説明に、意見質問等ないか問う。 スポーツ推進委員を希望される方は多いのか。それとも少ないのか。</p>
教育長	<p>スポーツ推進委員を希望される方が少ないので再任者が多いと思われる。</p>
生涯学習課長	<p>因みに、スポーツ推進委員の年齢だが、下は28歳で上は74歳である。</p>
委員長	<p>他に意見質問等ないか問い、議案第17号について異議ないか問う。</p>

四国中央市教育委員会会議録

全委員	異議ない旨伝える。
委員長	異議ない旨確認し、議案第17号「スポーツ推進委員の委嘱について」を原案どおり可決する旨宣する。 続いて、議案第18号「四国中央市少年育成センター運営協議会委員の委嘱について」を上程し事務局の説明を求める。
石井所長（少年）	議案第18号について、資料に基づき議案内容を説明する。 四国中央市少年育成センター条例第4条第2項の規定に基づき、資料記載の者を四国中央市少年育成センター運営協議会委員に委嘱されたい。これは、四国中央市少年育成センター運営協議会委員の任期満了に伴い、警察、教育、児童福祉等関係機関の代表者、学識経験者及び公募した者に委員の委嘱を求めるものである。
委員長	只今の説明に、意見質問等ないか問う。 少年育成センター運営協議会は、通常年何回行われるのか。
石井所長（少年）	例年1回開催される。
委員長	他に意見質問等ないか問い、議案第18号について異議ないか問う。
全委員	異議ない旨伝える。
委員長	異議ない旨確認し、議案第18号「四国中央市少年育成センター運営協議会委員の委嘱について」を原案どおり可決する旨宣する。 続いて、議案第19号「四国中央市文化財保護審議会委員の委嘱について」を上程し事務局の説明を求める。
文化図書課長	議案第19号について、資料に基づき議案内容を説明する。 四国中央市文化財保護条例第15条の規定に基づき、資料記載の者を四国中央市文化財保護審議会委員に委嘱されたい。これは、四国中央市文化財保護審議会委員の任期満了に伴い、委員の委嘱を求めるものである。 委員の構成について3/31までは12名であったが、2名が退任されたため10名での構成となっている。 なお、委員は、選任基準を満たすものとして全て再任をお願いしている。
委員長	只今の説明に、意見質問等ないか問う。 議案第19号について異議ないか問う。
全委員	異議ない旨伝える。
委員長	異議ない旨確認し、議案第19号「四国中央市文化財保護審議会委員の委嘱について」を原案どおり可決する旨宣する。 続いて、議案第20号「四国中央市郷土資料館運営協議会委員の委嘱について」を上程し事務局の説明を求める。
文化図書課長	議案第20号について、資料に基づき議案内容を説明する。

四国中央市教育委員会会議録

	<p>四国中央市郷土資料館条例第20条第2項の規定に基づき、資料記載の者を四国中央市郷土資料館運営協議会委員に委嘱されたい。四国中央市郷土資料館条例の制定に伴い、運営協議会委員の委嘱を求めるものである。</p> <p>委員の構成については、原則的にそれぞれ暁雨館運営協議会委員、高原ふるさと館運営協議会委員を再任させていただいている。</p>
委員長	只今の説明に、意見質問等ないか問う。
教育長	四国中央市郷土資料館運営協議会委員は無報酬か。
文化図書課長	条例設置の非常勤特別職扱いとなり、無報酬ではない。
委員長	構成委員は以前の暁雨館運営協議会委員、高原ふるさと館運営協議会委員をバランス良く選任しているのか。
文化図書課長	暁雨館関係者が7名、高原ふるさと館関係者が8名となっている。
委員長	他に意見質問等ないか問い、議案第20号について異議ないか問う。
全委員	異議ない旨伝える。
委員長	<p>異議ない旨確認し、議案第20号「四国中央市郷土資料館運営協議会委員の委嘱について」を原案どおり可決する旨宣する。</p> <p>提出された議案の審議等が終了したので議事の終了を宣する。</p> <p>非公開案件が終了したので事務局に傍聴者の再入場を許可する旨伝える</p> <p>～ 事務局は傍聴者に再入場を促す（傍聴人再入場）～</p>
委員長	その他の案件に移る。
委員長	<p>その他</p> <p>「四国中央市立小中学校の防災教育について」事務局の説明を求める。</p>
学校教育課長	<p>「四国中央市立小中学校の防災教育について」を資料に基づき説明する。</p> <p>防災教育については以前より行われているが、喫緊の課題である。先日も大きな地震があり、再度、全小・中学校に周知したものである。</p>
委員長	只今の説明に、意見質問等ないか問う。
鈴木委員	大きな地震が夜間や休日に起きた場合、校長等、リーダーシップを取る方が学校に駆けつけ指示されると思うが、そうした方の住居が学校から離れている場合、代わりの方がすぐさま駆けつけリーダーシップを取れるような体制ができているのか。
学校教育課長	夜間や休業中等、職員が学校にいない場合の体制については、各学校の防災マニュアルに定められている。学校に駆けつけるのは校長のみでなく震度に応じて教務主任、生徒指導、教頭を含め体制を組んでいる。

四国中央市教育委員会会議録

鈴木委員	<p>以前、東日本大震災の被災地で話を聞かせていただいたが、大きな災害では体制をある程度決めていても、その方たちに連絡が取れない場合もあるとのことである。最後の最後までリーダーになる人を決めておかなければならないことを実感した。そのようなことを踏まえ先生方一人ひとりが、リーダーシップ及び情報を把握できるような体制づくりをお願いしたい。</p>
学校教育課長	<p>鈴木委員が言われたことは、本当に大切なことであると思う。リーダーシップを取るのには管理職というのが原則ではあるが、咄嗟の時に一人ひとりが判断して動けることが子どもを守ることに繋がる。そうしたことは、各校長が危機管理意識の高揚を図るため、普段から口にしていることであり、そうでなければならぬと考えている。但し、学校への道が寸断された場合などは地域との連携も図るの必要があり、より一層具体的にして行かなければならない。</p>
篠原委員	<p>私が子どもの頃は、防災教育といっても防犯を含め避難訓練のイメージしかなかった。陸前高田市に研修に行った際、お聞きしたことだが、津波が生じた場合、「津波てんでんこ」といって人にかまわず必死で逃げ、まず自分の命を守ることが大切と指導しているとのことであった。一見、非情に思えることかも知れないが、こうしたことが大事であることを認識できたし、実際にこの教えが子どもたちの命を救った。防災マニュアルも大切であるが、子どもたちが、自分で判断し行動する力、自分の命を守るという教育を行っていただきたい。</p> <p>小学校は曜日によって集団下校が行われているようだが、中学生についても緊急時何かの場合に集団下校を行うのか。</p>
学校教育課長	<p>中学生については、緊急時に集団下校あるいは集団行動を取る場合もある。</p>
委員長	<p>各学校の防災に関しては学校要覧に記載されているが、学校訪問の際に具体的にお聞きすることにする。また、各学校でどのような防災教育を行うかを教育委員会に報告していただく必要がある。</p> <p>当市は燧灘も穏やかで、他の市町村と比べると自主防災組織率が低いようである。来ないだろうという意識ではいけない。教職員総会の場で市長も言われていたように、防災教育を学校教育課程の中に取り入れ、再度見直しつつ進めていただきたい。</p> <p>他に意見質問等ないか問う。</p>
近藤委員	<p>現在、新しく防災センターが建設されているが、防災センターとの連携による教育システム等の計画はあるのか。</p>
教育部長	<p>現段階で具体的なことを申し上げることはできないが、体験学習等は考えている。</p>
委員長	<p>次回の定例会にでも新しくできる防災センターの概略業務・計画について聞かせていただきたい。</p> <p>他に意見質問等ないか問う。</p>

四国中央市教育委員会会議録

高橋副課長(教総)	次に、「平成26年度教育基本方針について」事務局の報告を求める。
委員長	「平成26年度教育基本方針について」報告する。 前回の定例会で、一部修正の上でご決定いただいた H26教育基本方針について、ご指摘どおり修正し、製本したのでお手元のとおりに報告する。
教育部長	只今の報告に、意見質問等ないか問い、これを最終決定とする。 続いて、「教育委員会事務局の事務分掌について」事務局の報告を求める。
委員長	「教育委員会事務局の事務分掌について」資料に基づき概要報告する。 4/1付の人事異動及び機構改革により、教育委員会組織が一部変更となっている。昨年までは6課体制であったが、人権啓発課がなくなり新年度は5課体制でスタートを切っている。
委員長	只今の説明に、意見質問等ないか問う。 新しい人員でスタートを切ることになるが、各課の情報交換を十分に行い「チーム教育委員会」として前進してほしい。また、色々な決定事項については、趣旨が関係者皆に十分伝わるようお願いしたい。学校においても教育委員会で決まった伝達事項は、校長会や教頭会を通じて教職員にも伝わるよう努力願いたい。 他に意見質問等ないか問う。 続いて、「えひめ国体について」事務局の説明を求める。
国体推進課長	「えひめ国体について」資料に基づき説明する。 国体協力会に関して資料に基づき詳細な説明を行う。 続いて、山口国体における国体協力会に関する記録DVDを視聴いただく。 ～ 国体協力会(山口国体)記録DVDの視聴 18分間 ～
委員長	只今の説明に、意見質問等ないか問う。 これが成功すれば地域コミュニティ再生につながると思う。ご尽力いただきたい。 他に意見質問等ないか問う。 続いて、「高等学校修学旅行候補地に関する報告」を求める。
教育長	「高等学校修学旅行候補地に関する報告」を資料に基づき行う。 現状、小中学校修学旅行先の候補地として東北地方を選択することは難しいが、陸前高田市の今後の復興を後押しする取り組みとして、高等学校の修学旅行の誘致を目的とし協力を依頼されたものである。まだ計画の段階であり具体的な取り組みはこれからである。 実際に被災地を訪れ防災教育を含め色々な学習や体験をしたい子どもや、そのような中で絆を深めたいと思う子どもたちが必ずいるのではないかと思う。三島高校の修学旅行は、希望者別にオーストラリア、東京、北海道に行っている。県下の高等学校で、そのような体系を取っているところがあれば協力いただけたところもあるのではないかと思う。今回、震災3年の追悼式に訪れた陸前高田市での現場視察を含む研修会(3/8)で、本当に温かい地元

四国中央市教育委員会会議録

委員長	<p>の方のおもてなしを受けた。子どもたちもこうした経験をする中で温かさに触れ、防災に関する様々な知識を元に、今後、支援して行かなければならないという意識の高まりが生じてくれば良いと考えている。</p> <p>翌日(3/9)、陸前高田市の高田小学校にて追悼式が行われ出席させていただいた。寒く暖房も無い中であつたが、1,000人を超える大勢の方が参列された。また、復幸応援センターの閉所式が行われ出席させていただいた。</p>
委員長	<p>只今の説明に、意見質問等ないか問う。</p> <p>陸前高田市修学旅行誘致の協力に関しては、県教育長への説明も必要だが、地元の川之江、三島、土居高校に直接お伺いして事情を説明するが良いのではないか。</p>
教育長	<p>お見込のとおり、それが良いと思う。</p> <p>陸前高田市は観光地ではなく難しいところもあるが、精神的な部分で子どもがどれだけ関心を示すかが大きいと思われる。</p>
委員長	<p>当教育委員会として同意する旨を伝える。</p> <p>他に意見質問等ないか問う。</p> <p>本日、予定されていたその他案件についても全て終了したが、他に報告等ないか問う。</p>
教育総務課長	<p>教育委員会制度見直しに関する資料は、前回の定例会でも報告させていただいたが、地方教育行政法の改正案をめぐる審議が、15日の衆議院本会議でスタートしたという報道があつた。政府与党案の他にも民主党と日本維新の会が共同提出した対案も審議されているので、教育委員各位におかれてもご注目いただきたい。</p> <p>次回定例会の招集を願う発言。</p>
委員長	<p>次回、教育委員会第5回定例会を平成26年5月26日(月)午後13時30分から、本庁5階第1委員会室に召集する。</p> <p>他に報告等ないか問い、報告・意見等ない旨確認する。</p>
委員長	<p>閉会</p> <p>午前11時45分、閉会を宣する。</p>

四国中央市教育委員会会議録

以上、会議の顛末を記録し、その真正であることを認め、署名する。

教育委員会会議録署名人

四国中央市教育委員会 委員

四国中央市教育委員会 委員

会議録作成者 教育総務課 星川 直子